

## 2015年6月度 理事会 報告

2015年6月10日(水) 14:50～17:45 於：JIPA 東京事務所、(TV 会議 関西事務所)

### [審議事項]

#### 1. 海外派遣

以下の5件の海外派遣について承認した。

##### (1) 訪問団派遣 台湾訪問代表团 (台湾) アジア戦略プロジェクト

・7月30日～8月1日、台湾の台北の智慧財産局、ほかに上記プロジェクトから3名を派遣し、同局提示の改正草案における秘密意匠制度導入、PCT加盟に代わる手続き緩和策などに関して、当協会の意見を現地で担当の幹部に直接説明する。この秘密意匠制度や緩和策は当協会も以前から改正を求めているもので、台湾国内では改正に反対意見もあるので、法改正の支援の意味を含んで説明に行く。

##### (2) 調査団派遣 アフリカ調査団 (南ア、ジンバブエ) 国際第2委員会

・9月6日～12日、南アフリカのヨハネスブルグ、ジンバブエのハラレに、アフリカの英語系共通の特許庁ARIPO、南アフリカ特許庁や、現地法律事務所に上記委員会の委員7名を派遣する。日本企業のビジネスが始まっているアフリカ諸国での権利化や権利行使に関する知財制度の現状情報を得る。遠地であるため特別調査団として、航空運賃を補助する。調査結果は、資料や部会報告などで還元する。

##### (3) 会議派遣 WIPO-SCP 会議 (スイス) 医薬・バイオ委員会

・7月26日～8月2日にスイスのジュネーブで開催されるSCP(特許専門委員会)会議に2名を派遣する。事前連絡では、進歩性や当業者のレベルについての議論となっているが、前回同様の医薬バイオ関係の特許取り扱いの問題も含まれているので医薬・バイオ委員会で準備をすすめる。

##### (4) 会議派遣 WIPO 基金による ARIO 会合 (ジンバブエ) 理事派遣

・6月24日からアフリカのジンバブエにて、WIPO 主催でアフリカ諸国の企業や知財関係者に向けてワークショップが開催される。協会から常務理事 中澤 俊彦 氏 (キャノン) を派遣し、当協会の紹介とともに実用新案や意匠に係る知財制度の重要性、ビジネスにおける制度活用について講演する。渡航費ほか旅費一式はWIPOの基金から支払われる。

##### (5) 会議派遣 WIPO GREEN 初期調査費用支援プロジェクト会議 (スイス) WIPO プロジェクト

・7月1日～5日にスイスのジュネーブで開催される会議で、昨年度に実施の初期調査費用の支援先などを検討するプロジェクトの会議にWIPOプロジェクトから1名を派遣する。本年度の進め方、方針の検討や、WIPO GREENのDBの国際的な共有の仕組み、共有状況を収集する。

#### 2. 意見書等の提出について

・5月～6月に提出の以下の4通の意見書の内容を確認した。

##### (1) 内閣官房宛「知的財産推進計画2015」の策定に向けた意見 (5/20) 理事長名で発信。

5月理事会で趣旨承認済の最終提出意見書を5月20日付けで提出し、また、この意見書に関して内閣官房知財戦略推進室と意見交換した。意見書には、地方における知財活用推進、知財紛争処理システムの活性化など、戦略推進室主導のタスクフォースの検討項目に加え、職務発明制度改正、営業秘密

保護強化、人材育成ほか多数の項目に関し専門委員会や、政策プロジェクトの意見が盛り込まれている。

[http://www.iipa.or.jp/jyohou\\_hasin/teigen\\_iken/15/150520\\_2015\\_promotion%20plan.pdf](http://www.iipa.or.jp/jyohou_hasin/teigen_iken/15/150520_2015_promotion%20plan.pdf)

- (2) 内閣官房宛「世界最先端 IT 国家創造宣言に対する意見」(5/27) 著作権委員会担当理事名で発信。内閣官房の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部の意見募集に対して意見を提出した。意見書では、宣言文にある IT 社会が実現された際に想定される問題として、著作権だけでなく全ての知的財産権で色々な問題が生じることを指摘し、柔軟で適切な制度改正や体制作りが必要であるということを発信した。

[http://www.iipa.or.jp/jyohou\\_hasin/teigen\\_iken/15/150527\\_chosaku.pdf](http://www.iipa.or.jp/jyohou_hasin/teigen_iken/15/150527_chosaku.pdf)

- (3) 韓国特許庁宛「韓国特許法の一部改正法律案への意見」(4/28) アジア戦略プロジェクト担当理事名で発信。意見書は、韓国の特許法の改正案に関し、審査官の職権によって再審査を開始できるという制度の新設へ反対する意見表明ほか、を含んでいる。

[http://www.iipa.or.jp/jyohou\\_hasin/teigen\\_iken/15/150428\\_korea.pdf](http://www.iipa.or.jp/jyohou_hasin/teigen_iken/15/150428_korea.pdf)

- (4) 欧州特許庁審判部宛「Online consultation: Boards of Appeal」国際第2委員会担当理事名で発信する。欧州特許庁の審判部の運用手続きに関して Web 上に記入するというような形式での意見募集がなされており、意見を発信する。意見内容は、欧州審判部における Oral Hearing 手続きの改善、手続き運用のばらつきの是正、など。

### 3. 入 会 (2015 年 4 月 1 日付)

以下の正会員 1 社と賛助会員の 2 事務所の入会を承認した。本年度の入会は 6 月 10 日現在で 22 社となる。

#### <正会員>

- (1) パラマウントベッド株式会社 (2015 年 4 月 1 日付)

主業務 医療・介護用ベッド及び関連機器の開発、製造、販売

希望所属業種 関東金属機械部会 第 2 分科会

会員代表予定 技術開発本部 担当次長 堀口 浩 氏

推薦者 テルモ株式会社 内田 一広 氏

#### <賛助会員>

- (1) 北京東方億思知識産権代理有限公司 (2015 年 4 月 1 日付)

会員代表予定 東京事務所 所長 宋煒 氏

推薦者 京セラドキュメントソリューションズ株式会社 大崎 慎治 氏

- (2) 北京派特恩知的財産権代理有限公司 (2015 年 10 月 1 日付)

会員代表予定 所長 張 穎玲 氏

推薦者 古野電気株式会社 谷澤 靖久 氏

### [報告事項]

#### 4. 退 会 (2015 年 3 月 31 日付)

以下のパチンコなどの遊戯機メーカーの正会員 1 社が退会となった。破産手続きが開始されたため定款第 12 条 (会員資格の喪失) に基づく理由により退会となる。

2015 年 6 月 10 日現在の会員数は上記入会と退会を含め 1278 (正会員 938、賛助会員 340) である。

<正会員>

奥村遊機株式会社（関西金属機械部会第2分科会）

\*HP情報：2015年4月14日に破産手続開始の申立てを行い、同日破産手続開始の決定。

\*協会送付物が返却されており、また、6月10日現在、本年度の会費納入も無い。

5. 資料発行

(1) 「2014年度インド訪問代表団報告」アジア戦略プロジェクトインドWG

2015年2月迄に行っているインド訪問代表団の報告で、インド商工省産業政策促進局(DIPP)、著作権局ほか、インドの各訪問先で得た情報、過去の発信意見に対する対応状況などをまとめた。

6. 主要施策の活動について

1) 政策プロジェクト活動報告

(1) アジア戦略プロジェクト：

①模倣品対策（IIPPF）WG；

・ IIPPF 第1PJ(5/19)。

・経産省が主導の第4回日中知財WG(5/11)に当協会からも委員を派遣し、中国商務部、国家工商行政管理総局、ほかと、インターネット上の模倣品の取締りほか、日中の知財保護の環境整備に関して意見交換を実施した。

②東アジア対応（法改正）WG；中・韓・台湾の知財問題に関するJETROとの意見交換(5/26)を他の業界団体と合同で実施。この意見は、JETROを介して各国の関係機関に発信される。

③ASEAN/インドWG；

・特許庁主催のアセアン特許庁シンポジウム2015が奈良市で開催された(5/26)。当協会からは井上常務理事に登壇頂き、ASEAN各国の知財庁の長官と意見を交換した。

・JETRO バンコク 高田氏・澤井氏と意見交換(6/1)し、審査ハイウェイ（PPH）の状況などタイ、マレーシアなどASEAN各国の知財状況を収集した。

(2) 日中企業連携プロジェクト；

・2015年度の企画を検討(6/4)。上海（SSIP管轄）地区との企業間会合はJIPA事務所で10月26日(月)に実施するという案で進める。上海と北京PPACは7月に訪問し詳細を詰める。広州は広東省の都市開催にて中方に提案し交渉する。

(3) 国際政策プロジェクト：

①3極ユーザ会議(5/19) 5極ユーザ会議(5/20)、五極特許庁・ユーザ会合(5/21)が中国)蘇州にて開催され、参加した。会議では調和検討中の項目である先行技術の定義、Grace Period、18ヶ月公開、先願の地位(衝突出願)など、について、各国の立場を併記したレポートを作成し共有した。

②第8回PCT-WGがスイス)ジュネーブで開催(5/26-29)。会議では、PCT手続きの国際段階の手続き改善、PCT規則の改善案が審議され、国際委員会や本プロジェクトで検討している国際調査の品質向上などの意見を発信し議長サマリに明記された。

(4) JIPAシンポジウムプロジェクト：2月17日(水)に東京国際フォーラムで実施するが、テーマ等を事前検討した(6/2)。テーマは「標準化戦略とopen/closeビジネス戦略」を候補とし検討している。

(5) 職務発明制度プロジェクト：衆議院経済産業委員会（5/29）で参考人招致（企業：キャノン長澤取締役）があり、協会社員総会（5/29）の来賓挨拶にて伊藤長官より無事通過の報告があった。6月18日参議院の委員会が予定されている。

(6) 営業秘密プロジェクト：第三回の技術情報防衛シンポジウムの案内を開始し（6/3）、1週間で満席となった。今回は漏洩時の捜査への対応策などをテーマにし、警察庁にも講師をお願いした。

場所：ニッショーホール 日時：7月14日(火) 10:00～

(7) WIPO プロジェクト：

①キックオフ会議(5/25)にて本プロジェクトの活動方針を検討。WIPO が抱える諸問題で WIPO-GREEN の問題、生物多様性条約の知財課題、及び、それ以外の多様な事項も含めて検討することを確認した。

②Forest 研：生物多様性条約（CBD）に関係する企業のヒアリングを実施している（5/20.21.6/1）。今後、関係企業全体に対してアンケートを実施し、関係官庁に知財に関しての意見具申を行う予定で活動している。

2) 審議会関係活動：

(1) 産構審) 特許制度小委員会) 審査基準専門委員会 開催（6/5）

・審査基準にある先行技術調査と進歩性の拒絶理由などの各項を、質の高い特許権の設定という視点で見直しており、調査範囲の拡大や、わかりやすい進歩性の拒絶理由通知の作成などを修正する方向で検討している。

[https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new\\_shinsakijyun05\\_gijiyousi.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new_shinsakijyun05_gijiyousi.htm)

(2) 産構審) 意匠制度小委員会) 意匠審査基準 WG 開催（4/24,5/27）

・画像意匠の審査基準の検討を行っており、画像意匠の創作容易性について事務局から提案され継続して検討する。

[https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new\\_isyou\\_seido\\_wg05.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new_isyou_seido_wg05.htm)

[https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new\\_isyou\\_seido\\_wg06.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/shingikai/new_isyou_seido_wg06.htm)

3) 研究会等、その他の活動

(1) 2015 年度地域別部会の運営について

・関東関西で行う地域部会について、担当理事より、各発表テーマは、部会参加者の視点で興味が湧くようなテーマを選び、また、発表に先立ち事前に効率よくまた効果的に参加の聴衆に情報が伝わるかどうかを確認するように、という要請がされた。

(2) 著作権政策研究会

・経済連携で著作権の権利期間が議論されたり、文化庁での著作権に係る議論が行われることから、協会での受け口として設立する。

(3) 企業内弁理士の会、ほか

・日本弁理士会の意見発信が特定の意見、例えば、第一国出願は日本に義務付けなど、偏ることもあり、企業知財の幹部をリーダーとする企業弁理士の会で検討し意見を発信してゆく。

7. 協賛・後援 以下2点について後援する。

- (1) 後援：特許庁主催『巡回特許庁 IN KANSAI』(7/2～7/10)」
- ・『巡回特許庁シンポジウム』日時:7月6日(月)13:30-17:00 場所:大阪 マイドーム大阪
  - ・巡回審査 7/2-10、知財金融シンポ、知財制度説明会、J-Plat 講習会ほか、
- (2) 後援：IPCC主催 「特許検索競技大会 2015」
- 日時:9月5日(土)9:30-17:30
- 場所:東京 深川ギャザリヤ タワーS、ほか 大阪:大阪工業大学 大宮キャンパス、
- 参加費:ベーシックコース 2,000円 アドバンストコース 5,000円

8. 委員・講師等 派遣 以下の3イベントに講師を派遣する。

- (1) 講師派遣 特許庁主催「ハーグ協定加入記念シンポジウム」
- 日時 6月16日(火)10:30~17:00 場所:東京ミッドタウン ホールB
- 基調講演者 竹本 一志 氏 参与・前理事長 サントリーホールディングス
- [http://web.apollon.nta.co.jp/Hague\\_agreement/index.html](http://web.apollon.nta.co.jp/Hague_agreement/index.html)
- (2) 講師派遣 「仲裁センターセミナー デザインを保護する方法」
- 日時 8月24日(月) 予定 場所 大阪弁護士会館
- 講師 商標委員会委員長 本田 順一 氏 (大塚製薬)
- (3) 講師派遣 一社)日本知財学会 定例研究会
- 日時 7月16日(木)18:30~ 場所 東京理科大 森戸記念館
- 講師 久慈 専務理事 (学会副会長)

9. 事務局からの連絡事項

- (1) 特許庁:特許審査の質についてのユーザ評価調査報告書を特許庁のホームページに公表しており、参考にされたい。
- <http://www.meti.go.jp/press/2015/05/20150527002/20150527002.html>
- (2) 調査報告書などの入庫
- (電子データの無い書籍のみの報告書であり、協会に入庫したので参考にされたい)
- ・特許庁「平成26年度 特許出願技術動向調査報告書(防災・減災関連技術)」
  - ・特許庁「平成26年度 特許出願技術動向調査報告書(マクロ調査)」

以上